

クロックアップ・サイリックス第8回公演上演台本

不敗神話

作・演出／川原 武浩

出演レスラー

素顔の男

中島 信和

ミタイ・ガスマスク
ラス／男1
男2

高木 優一
長岡 暢郎

古館伊知郎
ミスタ | 高橋 / 女1
女2

上 智昭
森 久 江吾

小林邦昭

濱崎 留衣

闇の中、大きく「ガタン」と列車の音。

明かりが入ると、そこは電車の車両の中。

単調に繰り返す列車の進行音。

車両には手すりにつかまった、スーツ姿の挙動不審な男（素顔の男）。

ブックカバーをかけた本を読む女（女1）。

帽子を目深にかぶり、腕組みをしたままヘッドホンで音楽を聴く男（男1）。

メールを打つ女（女2）。

椅子に横になり、顔にスーツをかけて熟睡中の男（男2）。

ありふれた、異常な光景。

そのスーツの男以外の全員が白いマスクをしている。

男、きよろきよろと落ち着かない様子で、視線を宙に彷徨わせている。

もう一度大きく「ガタン」と音がしたかと思うと、素顔の男以外の時間が止まる。

素顔の男

まさかこんなことになるとは、思ってもみませんでした。読みかけの文庫本はクリーニングに出した背広の上着の中。携帯は充電したまま机の上。頼みの綱の車内広告すら、なぜかどこにも見あたらず、居場所もないままいつもの電車。いつもなら朝のラッシュですし詰めのはずの、月曜8時のいつもの電車。

この奇妙な人の少なさと、この居所のない微妙な気持ち、なんだか次の駅までの距離さえ永遠より遠く感じるような居心地の悪さです。

音が戻ってくる。

再び流れ出す時間。

素顔の男、女1の後ろに立ち、読んでいる本をのぞき込もうとする。

それに気づいた女1、角度を変えて覗き込まれないようにする。

素顔の男、再度ポジションを変えて覗き込もうとするが、女1ににらみつけられる。

あわてて目をそらす素顔の男。

素顔の男、席を立ち、またきよろきよろと車内を見回す。

素顔の男、女2の方へ近づき、それとなく携帯を覗き込もうとする。

女2、素顔の男の視線に気づき、携帯電話を閉じる。

素顔の男、今度は男1の横に座ると極限まで耳を近づけ、漏れる音を聞こうとする。

無反応な男1。

素顔の男、おそるおそる男1のほほを指で押してみる。

やはり無反応な男1。どうやら音楽を聴きながら眠り込んでいるらしい。

素顔の男、男1の片耳のイヤホンを抜き、自分の耳に押し込もうとする。

が、その瞬間男1が目を覚ます。
帽子の下から現れた顔は・・・タイガーマスクだ。
二人顔をつきあわせて・・・

男 1
うわあああ！！
素顔の男
うわあああ！！

男1、反射的に素顔の男を投げ飛ばす。
投げ飛ばされた素顔の男、男2に衝突。
飛び起きる男2。
その姿は・・・ミル・マスカラス。

男 2
うわああつ、なんだ、なんだ、なんだあつ！！

男2、驚きながらも素顔の男にロメロス・ペンシル。

素顔の男
痛えええええ！！
男 1
な、な、なんだ、お前！ 虎の穴からの刺客か！
男 2
刺客第1号のブラック・パイソンか？
女 2
痴漢です、この人。
素顔の男
えっ！？

男 1 #
きゃっ！
男 2 #
きゃっ！
女 2
さっきから私の周りをウロウロして。なんか怪しいんです。さっきも上から覗き込んできて・・・。
素顔の男
いや、そんなつもりじゃ。だいたい痴漢って、私、あなたに何もしてないでしょう？

女 2
するつもりだった。
素顔の男
言い掛かりです。
女 2
目で犯された。痴漢じゃなければ視姦です、この人。
男 1 #
わおっ！

男 2 #
わおっ！
女 1
違います。この人、痴漢なんかじゃありません。
素顔の男
そうです、違います、痴漢じゃないです！
女 1
泥棒です、この人。
男 1 #
ええっ！

男 2 #
ええっ！
女 1
さっきから私のハンドバッグ、狙ってたんです。
素顔の男
狙ってません。

女 1
じゃあどうして、ずっと後ろからジロジロ見てたのよ。

素顔の男

見てません。

女 1

見てたじゃない！

素顔の男

見てません。見たのはハンドバッグじゃなくて・・・

男 1 #

ハンドバッグじゃなくて？

男 2 #

ハンドバッグじゃなくて？

男 1、視線を指で追っていくと女 1 の胸に到着。

女 1

キヤー！！

女 1、マスカラスを一本背負いで投げ飛ばす。

男 1

ギヤー！！

女 2

やっぱり痴漢です、この人。

女 1

泥棒の上に痴漢です、この人。

全員

車掌さん、車掌さん！！

と、そこに一人の男があらわれるが、すぐに取り囲まれ見えなくなる。

女 2

車掌さん、この人、痴漢です。

女 1

ついでに泥棒です。

男 1

痴漢アンド泥棒。

男 2

痴漢かつ泥棒です。

全員

なんとかしてください、車掌さん！！

女 1

車掌さん、車掌さん、五月蠅いんだよ。ここは場末のキャッチバーか。悪いが俺は車掌でも社長でも和尚でもない。(女 1 に) お前、おい、お前。

女 1

？

小林 1

(本を指して) なんだそれは。

女 1

本ですけど。

小林 1

そんなことはわかってる。その本の上の、それはなんだ。

女 1

ブックカバー？

小林邦昭、いきなりブックカバーを引ん剥く。

女 1

ちよ、ちよっと、なにすんのよ！！

小林 1

ドクターコパの風水が教える恋と結婚のバイオリズム。

女 1、本を隠す。

小林

(大声) ドクターコパの風水が教える恋と結婚のバイオリズムっ！

女 1 ちよつと、やめてよ!!

小林 見られて恥ずかしいような本なら読むな!! 黙って聞いてりやこの野郎。誰がお前の乳なんか見るか。この上げ底盆地胸がつ!

小林邦昭、いきなり女1の胸に手を突っ込む。

女 1 ギャー!!

と、上げ底用のパンが二つ出てくる。

小林 1 いまどきアンパンで上げ底か。何万年前の漫画だ、お前!!
ちよつと、何すん

小林、女1の口にパンを突っ込み黙らせる。

小林、おもむろにもう一個のパンを口に運び・・・

小林 (激怒) 不味いつつ!! しかもアンパンじゃないつつ!! ジャムパンだ。ペクチンと砂糖と香料をごった煮にしただけの、イチゴがまるで入ってない給食に出るようなイチゴジャムだ。ふざけるなよ、この風水オカマがあつ!!

小林、ローリングソバットで、女1を場外へ叩き落す。

小林 それからお前!

何よ。

小林 見られて嫌がるくらいならメールなんか打つな!! 電車の中で無意識丸出しにしやがって。カチカチカチカチ五月蠅えんだ。

小林、いきなり女2の携帯を取り上げる。

小林 「今、電車に乗ってます。変な男がこつちをジロジロみててサイテー」

女 2 ちよ、ちよつと、何よ。返しなさいよ!

小林 「今、電車に乗ってます。変な男がこつちをジロジロみててサイテー」なんだ、そりゃ。お前はお前のスポークスマンか、アナウンサーか、内閣官房長官か。今日の日をリアルタイムで実況中継か!!

小林、ローリングソバットで、女2も場外へ叩き落す。

男 2 ……覆面狩り。覆面狩りだつ!!

男 1 覆面狩り? まさか、あの伝説の・・・

男 2 伝説の覆面ハンター、小林邦昭。

音楽。

小林、マスカラスとタイガーを睨みつける。
対峙する三人。

男 2 気をつける。油断しているとマスクどころか全部剥がされるぞ。
男 1 全部って。
男 2 上から下から中身まで。
男 1 中身まで？

緊迫した空気が流れる。

間合いを計ってグルグルと移動。

リングの中央でがっぶり組み合う三人。

マスカラスとタイガー、小林をロープに振って・・・

男 2 逃げるぞ。
男 1 はいっ！

マスカラスとタイガー、遁走。

小林 待ちやがれ、コラア！！

小林、二人を追って猛スピードでリング外へ。

一人残される素顔の男。

素顔の男 そして、また一人残される。一人は嫌だ。でも他人と関わりを持つのも嫌だ。

自由でありたいと願うほどに、日々不自由になっていく。ルチャ・リブレ。自由

への闘争。そんな言葉をどこかで聞いた。自由でありたいと願うほどに、日々不

自由になっていく。望むほどに叶えられないアンビバレンツ。何からも自由なま ま

この寂しさを埋めてくれる、そんな都合のいい場所がどこかにないかと、今日 もまた、

一人。(指鉄砲の形を作って) 撃つ、撃つ、撃つ、撃つ。何か見えない モノに向かっ
て。

暗転。

(シーン1終了)

無機質な部屋。

室内には白いマスクをした3人（マスクA/B／素顔の男）。

あるものはしゃがみ込み、ある者は呆然と立ちつくし、それぞれが微妙な距離感でそこに存在している。

と、素顔の男が口を開く。

素顔の男
 ……あの…誰かいますか？

静寂。

素顔の男
 マスクA
 誰か…。

（手を挙げて）ん。

素顔の男
 マスクA
 よかった。あんまり静かだから、てっきり遅れたのかと。

素顔の男
 マスクA
 まだ、俺だけみたいだね。

素顔の男
 マスクB
 居ます。

素顔の男
 マスクA
 あれ？ いつから？

素顔の男
 マスクB
 7時から。時間、間違えちゃったみたいで。8時だったんでしょ、今日。

素顔の男
 マスクB
 ええ、8時ですよ。

素顔の男
 マスクB
 いつもだいたい7時からだから。

素顔の男
 マスクA
 そうなんですか。

素顔の男
 マスクA
 まあ、だいたいね。

互いが視線を合わせることはない。

素顔の男
 マスクA
 ……来るんですよ、今日。

素顔の男
 マスクA
 来るって、…ああ、あの話ね。

素顔の男
 マスクA
 ええ、例のあの。来るんですよ。

素顔の男
 マスクA
 らしいね。

素顔の男
 マスクB
 また噂だけかもよ。

素顔の男
 マスクB
 噂？

素顔の男
 マスクB
 時々ね、忘れた頃に噂が立つんだよ。奴が来るってね。

素顔の男
 マスクB
 見たことは？

素顔の男
 マスクB
 ない。

素顔の男
 マスクB
 あの、ここにはどれくらい？

素顔の男
 マスクB
 いつから来てるのかってこと？

素顔の男
 マスクA
 ええ。

素顔の男
 マスクA
 失礼だな。ここの古株だよ、彼女。

素顔の男
 マスクB
 古株ってのもなんだかな。

マスクA
で、どっちに賭けるの。

素顔の男
あの、オッズは？

マスクB
タイガーマスクの勝ちか引き分けなら1.00001倍、マスカラスの勝ちなら10万倍。

素顔の男
10万倍と、1.00・・・？

マスクB
1.00001倍。100万賭けて、戻りが100万と10円。つまんないねー。

マスクA
マスカラスの勝ちなら10円賭けて、戻りが100万円。いいねー。

素顔の男
あの、皆さんどっちに賭けてるんですか。

マスクA
それは秘密です。

素顔の男
じゃあ、どっちが勝つと思いますか。

マスクA
それを自分で考えないと。

素顔の男
どう思います。

マスクB
私、予想屋じゃないんで。

素顔の男
でも、これだけオッズに差があるってことは、やっぱりブッチぎりに強いってことですよね。

マスクA
ブッチぎりって、まさか知らないの。

素顔の男
知らないって、何をですか。

マスクA
不敗神話。

素顔の男
不敗神話？

マスクB
シングル戦134戦、126勝8分。勝率94%。

マスクA
引き分けが6%、負け0%。

マスクB
つまり、いまだ負け無し。

素顔の男
そうなんですか。

マスクA
そうなんですよ。

素顔の男
じゃあ、タイガーに。

マスクA
は？

素顔の男
タイガーマスクの勝ちに。

マスクB
ねえ、あなた。こんなところの止めて、郵便局に行って普通預金の口座でも作ったら。

素顔の男
はあ。

マスクB
はあじゃないでしょ。あなたここに何しに来たわけ。貯蓄？ それとも稲作？

ギャンブルでしょ。一攫千金でしょ。痺れに来たんじゃ。ああ、もう駄目。

素困気もリズムも、何もかも駄目。

素顔の男
だって、負けたことがないんですよ。だったら。

マスクA
あんた、ひよつとして豪華客船の船長？

素顔の男
意味がわかりません。

マスクA
言うんだよ、船長が。「皆様ようこそタイタニック号へ。この船は世界一安

全です。なぜならこの船は、まだ一度も沈んだことがありません」ってね。

素顔の男

はあ。

マスクA

「はあ」じゃないよ。

マスクB

わかってない。全然わかってない。

マスクA

ハインサエティなアメリカンジョークなんだよ、笑うところなんだよ。

素顔の男

ははははは。

マスクA

だからそういう意味じゃなくて。

素顔の男

すみません、本当によくわからないんですけど。

マスクA

だから、これまで一度も沈んだことがないからって、これから先沈まないって保証にはならないだろ。だったら。

素顔の男

これまで一度も負けたことがないからって、これから先負けないうって保証にはならない。

マスクA

そうだよ、わかったじゃないの。

素顔の男

ああ、なるほど！ hal hai hai what a nice joke !

マスクA

おい、誰かこいつ殺してくれ。

素顔の男

でも、やっぱりタイガーの勝ちに。

マスクA

もう、誰か俺を殺してくれ。なんか俺が悪いような気がしてきたよ。なあ、

素顔の男

俺の説明、そんなに分かりにくいか？

だって、船でいえば結局沈まない船の方が多いわけじゃないですか。確率論ですよ、確率論。

マスクA

平均的一般大衆だな。

素顔の男

いやあ、それほどでも。

マスクA

誉めてんじゃないんだよ。どちらかといえば罵ってんだよ！！

素顔の男

もういいじゃないですか、私が私のお金を賭けるんですから。

マスクB

・・・たとえば。ルーレットですーっと黒が出てる。百回以上連続して黒が出てる。あなたなら次はどっちに賭ける？

素顔の男

赤です。

マスクB

どうして？

赤と黒の出る確率はおよそ2分の1で、それなのに目の前で起こっていることには偏りがあるからです。

マスクB

不正解。前に何が出ようと、それに関係なく、次に出る目が赤か黒かはやっぱり2分の1。だから、赤でも黒でも確率は同じ、でしょ？

素顔の男

確かに。でも、タイガーマスクの成績は、これは理由があつての結果でしょ。要するに強いから、勝ってるってことで。

マスクB

危ない試合もあつたわよ？

素顔の男

本当ですか？

マスクB

一方的に押されてた試合もあつたし、偶然に救われた試合もあつた。私に言わせれば未だに負けなしなんてこともルーレットと同じ。単なる偶然よ。それにね・・・

素顔の男

それに・・・なんですか？

マスクB

そろそろだと思ふの。負け。

コーナートップに駆け上り、お決まりのポーズ。
コーナートップから（できれば空中で2回転くらいして）軽やかに着地。
リングインとともに、音楽フェイドアウト。

古館 青コーナーより、挑戦者、ミル・マスカラス選手の入場です。

「スカイ・ハイ」が流れ、ミル・マスカラスが登場。

古館

さあ、元祖四次元殺法、ミルマスカラスの入場です。ルチャ・リブレ、自由への闘争も、はや三十余年。求め戦い続ける仮面の求道者。プロレス界の生き字引。入場テーマ「スカイハイ」の文字通り、今日も優雅に宙を舞うのか。ミルマスカラス、今リングイン！

よろよろとコーナートップに登り、恐る恐るコーナートップから降りてくる。

マスクA、レフェリー柄のマスクに着替えてリングイン。

古館

青コーナー、挑戦者、210ポンド、ミル・マスカラサーーーー！

マスカラス、コールに合わせてマントを脱ぎ捨てる。

古館

赤コーナー、チャンピオン、203ポンド、タイガー、マスケーーー！

タイガーマスク、人差し指を天に突き上げるパフォーマンス。

古館

レフェリー、ミスター高橋。

ミスター高橋、小さく一礼。

Mr高橋

シックスティミニッツ、テイクトウセットウイン、ノーチョーク、ノーサーミング、ノーバイト、ノーパンチ、アンドノーヒットゴルデンボール、オーケー？ 60分、2本先取で勝ち。首しめ、目潰し、噛み付き、正拳、金玉たたいちや駄目。分かった？ オーケー、ファイッ！

ゴングが鳴り響く。

タイガーとマスカラス、がっぷりと4つに組む。

額を押し付け合い、力比べ。

タイガー

おえっ。

タイガーマスクの様子がおかしい。

タイガー
うおえつつ。

mascarass、マスクを思いっきりタイガーの顔面に押し付ける。

タイガー
臭えええっ！！

mascarass、すばやく後ろに回りこんで、逆さ押さえ込み。

Mr高橋
1、2、3！

ゴング。

古館
1本目、一分三十秒、一分三十秒、逆さ押さえ込みでミル・ mascarass選手
の先制です。

素顔の男
お、やった、やったー！

古館
これは素早い。一瞬の隙をついた見事な攻撃。亀の甲より年の功。ベテラン
としての意地とプライド。まるで背中で語る親父のようだ。これこそまさにリ
ング上の星一徹。

タイガー、ミスター高橋のところへ駆け寄って・・・

タイガー
おい、レフリー、なんだよ、あれ。反則だろ、反則。

Mr高橋
どうかした？

Mr高橋
どうかしたって・・・。臭いんだよ。

タイガー
臭い？

Mr高橋
なんか嫌な臭いがするんだよ、あいつのマスク。

Mr高橋
嫌な臭いって、例えばどんな。

Mr高橋
例えばって・・・ええと、メタンとブタンがワルツを踊っているような。

Mr高橋
なんか詩的でよくわからないね。

Mr高橋
真夏の柔道部員の胴着に、台所の三角コーナーの中身をぶちまけたような。

Mr高橋
それは臭そうだね。

Mr高橋
臭そうって、臭いんだよ。わかんないのかよ。

Mr高橋
幸い鼻炎気味でさ。でもなあ、臭いのは、反則じゃないなあ。反則は、首

Mr高橋
しめ、目潰し、噛み付き、正拳、金玉。

Mr高橋
反則だよ。臭すぎて、目が開かないんだぞ。立派な目潰しだろ。

Mr高橋
お、いいねえ。それは大変いいルール解釈だねえ。じゃあ、これ。

ミスター高橋、タイガーに鼻栓を渡す。

タイガー
Mr高橋

あ、おいつ！
2本目、ファイツ！

2本目のゴングが鳴る。
タイガー、しようがなく鼻に栓をする。
タイガーと mascarass、がっぷりと4つに組む。
額を押し付け合い、力比べ。

mascarass

おえつ。

今度は mascarass の様子がおかしい。

mascarass

うおえつつ。

タイガーマスク、マスクを思いっきり mascarass の顔面に押し付ける。

mascarass

臭えええつ！！

タイガー、すばやく後ろに回りこんで、逆さ押さえ込み。

Mr高橋

1、2、3！

ゴング。

古館

決まった、決まった、やられたらやり返す。それが野生の掟だ。見事な一瞬の逆転劇。電光石火。これがタイガーの牙だっ！

素顔の男

ああああ・・・。

古館

2本目、二分三十秒、二分三十秒、逆さ押さえ込みでタイガーマスク選手が追いつきました。

mascarass、ミスター高橋のところへ駆け寄って・・・

mascarass

おい、レフリー、

Mr高橋

臭い？ じゃ、これ。

ミスター高橋、 mascarass にも鼻栓を渡す。

mascarass

おお、準備がいいねえ、って、こんなもん詰めて、試合できるかよ。なんだあの臭い。

Mr高橋 おまえも相当なもんらしいぞ。よかった、俺鼻炎で。うわ、でも、くる。目に来るな、この臭い。

Msカラ え、何？ 俺、臭いの？

Mr高橋 多分な。俺、鼻炎だし、慣れちゃってるからあんまりわからないけど。

Msカラ ス、自分を臭ってみるがよくわからない様子。

Msカラ ス、洪々鼻栓を詰める。

Mr高橋 さ、ちゃっちゃとやっちゃおうや。わかってるだろうけど、今日も（親指を

下にして何かの合図）でね。よろしく。

はいよ。

Mr高橋 3本目、ファイツ！

3本目のゴングが鳴る。

タイガーとMsカラス、お互いを牽制しながらリング上をぐるぐると回る。

古館

さあ、リング中央、さすがにお互い警戒しているのか。時計方向にぐるぐると回りながら、出方をうかがっているぞ。リング上のチックとタック。私は右に、あなたも右に。裏切りのグッバイマイラブ、松崎しげるかアンルイスか！

と、勢いづいてだんだんとそのスピードが速くなる。

二人、息苦しくなって、酸欠でダウン。

Mr高橋

ダウン！ ワン、ツー、スリー、フォー、ファイブ、

古館

なんだ、どうした、両者ダウン、両者ダウンだ。旅は道連れ世は情け。死出の旅路の道連れ二人旅。二人の間には見えない練炭と七輪が置かれているのか。これは六本木中かそれとも曽根崎心なか。

Msカラ ス、タイガー、鼻栓を取る。

Msカラ #

ブハーツ！！

タイガー #

ブハーツ！！

Mr高橋

シックス、セブン、エイト、ナイン

二人、飛び起きる。

古館

立った、立った、立ちました。ハイジもペーターも大喜びだ。

Mr高橋

オーケー、ファイツ！

二人、ロープ際でのせめぎ合い。
勢い余ってリングから客席に転がり落ちる。
場外乱闘。

古館
Mr高橋
おっと両者場外に転落。
ワン、ツー、スリー……

タイガー、折りたたみ椅子を持ってマスカラスを殴りつけようとする。

古館
そして、椅子だ、椅子が出た。タイガーの椅子だっ！

マスカラス、必死に転がって逃げ、タイガーをクリンチ。
耳元でなにかぼそぼそとささやく。

マスカラ
タイガー
Mr高橋
馬鹿野郎、なにやってんだよ。駄目だよ、そんなんじや。
え？
フォー、ファイブ、シックス……

二人、場外で力比べ。

古館
場外でがつぶりと組んだ。力比べだ。まるで金剛力士像のように右と左でがつぶりと組み合ったあ。さながらその姿は現代に甦った運慶と快慶か。
方向だよ、椅子の方向が逆。
タイガー
あ、はい。

二人、力比べを解く。

古館
さあ、力比べを外して……しかしまた椅子だあ！！

タイガー、椅子の上下を入れ替える。
椅子がバタバタ開いて、殴りにくそうであるが、それでも無理矢理マスカラスに襲いかかる。
マスカラス、必死に転がって逃げ、タイガーをクリンチ。

Mr高橋
Masカラ
タイガー
セブン、エイト、ナイン……
ちがうよ、上下じゃなくて、裏表。クッションの付いてる方で殴らなきや。
痛いでしょ、裏で殴ると。打ち所悪かったら死んじゃうよ。
あ、なるほど。

二人、体勢を入れ替える。

古館

さあ、再び組んで・・・押し込んでいる。マスカラス、押し込む。

Mr高橋

テン、イレブン、トウエルヴ・・・

マスカラ

それから、お客さんの座ってる椅子を取ったと見せかけて、サクラに座らせ
といた、自分とこの椅子を取るわけ。これ重要ね。会場の備品勝手に使って、
しかも壊しちゃったりしたら、次から貸してくれなくなるから。

タイガー

確かに。
うちの椅子、とりあえず痛そうな音がするようにできてるから。頼むよ。

マスカラ

あ、はい。

タイガー

二人、体勢を入れ替える。

古館

ああ、しかし返した。タイガー、返す

マスカラ

あ、それから、君はそういうキャラじゃないから、アレだろうけど、もし火
を噴くとか、毒霧噴くとか、そういう時ね、その間、この会場の責任者、よ
そ見させとかないといけないから、やる前にちゃんとリングアナにサイン出し
てね。まあテレビ中継がない試合ならばれやしないから。

Mr高橋

サーティーン、フォーティーン、ファイティーン・・・

マスカラ

おっと、一回戻るぞ。

タイガー

はい。

マスカラス、力比べの体勢のまま、キック2発でタイガーを突き放す。
マスカラス、素早くリングに戻る。

古館

カウン트가進む。マスカラス、素早くリングイン。タイガーはまだリング
の下だ。

Mr高橋

シックスティーン、セブンティーン、エイティーン、

タイガー、あわてて起きあがってリングに戻る。

古館

今タイガーもリングイン！

Mr高橋

オーケー、ファイブ！

タイガーとマスカラス、リング上で申し訳程度にチョップの応酬。

古館

そしてチョップ、チョップだ、チョップの応酬。これは凄い。目には目を
歯には歯を、チョップにはチョップを。現代に甦るメソポタミアの魂、復讐
法。これがリング上のハムラビ法典だ！

二人、再度リング下に転がり落ちる。

Mr高橋

ワン、ツ、スリー・・・

タイガー、備品シールを確認したりして、あからさまに椅子を探す。
が、確信が持てないのか、マスカラに目で同意を求める。
マスカラ、小刻みに首を横に振り、視線で「隣の椅子を取れ」と訴える。
タイガー、隣の椅子を取り、マスカラに襲いかかる。
椅子がマスカラの脳天を直撃。
あたりにいい音が響く。

古館

直撃！ タイガーの椅子が、マスカラスの脳天を直撃！ しかし倒れない。
マスカラス、仁王立ち。これぞ怒りの一人勸進帳。

マスカラ

(宇宙からの電波を受信したような意味不明な音声) ぼへびー！

マスカラス、直立不動の姿勢でダウン。

古館

いや、倒れた、倒れた。どうしたメキシコの心。アステカの魂。古代マヤ文明のように、あっさりと侵略者の軍門に下ってしまうのか。

マスカラス、光速で起きあがり、怒りの場外スリーパーホールド。

マスカラ

パピプペピポパピピー！！

タイガー

な、な、何て言ってるかわからないッス。

マスカラ

お前コラ、いきなり頭殴るやつがあるか、マジで殺すぞ、お前。

タイガー

ぎ、ぐ、げ、げげ。

マスカラ

こういう場合は、まず背中だろ。背中。で、倒れた後で申し訳程度に頭に

タイガー

いくもんなんだよ。

古館

す、ずみません。

マスカラ

起きた、起きあがった、まさに不死身の不死鳥フェニックス。

タイガー

おまえ、次やったらマジ殺すぞ。
ぐえつ。

タイガー、失神。

マスカラ

あら？

マスカラス、崩れ落ちたタイガーにストンピングをしながら・・・

マスカラ#

おい、 ころら、 馬鹿、 起きろ、

Mr高橋#

サーティーン、フォーティーン、ファイティーン、シックスティーン

タイガー、正気づく様子がまるでない。

古館

そして鬼神のようなストンピングだ。

マスカラ#

起きろ、起きろつてば、うわああああ、

Mr高橋#

セブンティーン、エイティーン、ナインティーン、

マスカラス、Mr高橋に向かって・・・

マスカラ

へい、レフェリー、ホワットタイムイズットナウ？

Mr高橋

オウ、イツツイイトオクロック。

マスカラ

サンキューベリーマツチ。

Mr高橋

ナイン、テン、イレブン・・・

マスカラ

助かった。さすがジャパニーズ落語の名作、タイムゾバヌードル。

古館

なんだ、今のは何だ。まるで狐につままれたようだ。今まさに我々の前に
時空のねじれ、タイムホールが出現したのか？

マスカラ

しかし困ったぞ。こんなしよっぱい試合で終わったら、いや、それより俺
が勝つちやまずいだる。まったく使えねあなあ、この野郎。

Mr高橋

トゥエルブ、サーティーン、フォーティーン・・・

マスカラス、いったんリング内へ。

古館

さあ、マスカラス先にリングイン。ロープに飛んで・・・

マスカラス、場外へブランチャ・スイシード。

古館

出た、ブランチャー！ ブランチャスイシード！！

場外に転落したマスカラス、かなり大げさに「足が痛い」演技。

古館

決まった。決まりました、捨て身のブランチャ・スイシード。東山区清水1
丁目294番地、清水の舞台からスカイダイビングだ！

Mr高橋

フィフティーン、シックスティーン、セブンティーン、

マスカラス、「足を痛めたが必死でリングに戻るうとする」演技。

Mr高橋

エイティーン、ナインティーン、トゥエンティ！

鳴り響くゴング。

素顔の男

あああああ。

古館

三本目、八分三十秒、八分三十秒、両者リングアウト。したがって、ただいまの試合はドロ。引き分けです。

Mr高橋、リング外のマスカラスとタイガーの手を挙げて勝ち名乗り。

古館

なんとということだ。両者とも2本取ることができず、引き分けです。しかし危なかったタイガーマスク。そして勝利までもう一歩だったマスカラス。これでタイガーマスクの戦績は135試合、126勝9分。しかしながら不敗神話はいまだ途切れず。

アナウンスが入る。

「ただいまの試合は、引き分け、引き分けです。

最終オッズは1.00001倍、1.00001倍となりました。

DRAW GAME.

FINAL ODDS 1.00001 for DRAW-GAME or Tiger's WIN. Thank you.」

がつくりと肩を落とす素顔の男。

マスクB

残念だったね。

マスクA

惜しかったけどね。まあ次頑張って。できれば百円とかじゃなくて、もっと痺れる金額で。

素顔の男

・・・来るんですよ、今日。

マスクA

ああ、アレね。

マスクB

また来なかったね。

マスクA

本当、毎度毎度噂だけだね。

マスクB

まあ、私実際に見たことがないぐらいなんだから・・・永遠に噂のままかもね。

素顔の男

・・・小林邦昭。

マスクA、マスクB、苦笑。

素顔の男

来るんですよ、今日こそ。

マスクB

・・・じゃ、お先に。

マスクA

じゃ、また来週。お先。

マスクA、マスクB、素顔の男の肩をポンと一つ叩き退場。

気がつけば、タイガーとマスカラスもいつの間にか姿を消している。

素顔の男、ヨロヨロとリングに上がる。

素顔の男

青コーナー挑戦者209ポンド、小林一邦一昭一

素顔の男のコールがむなしく響く。

素顔の男

小林一邦一昭一！！

静寂。

素顔の男、リングの端に立ち、リング外を見つめる。

と、素顔の男、背後から突然スリーパーホールドを決められる。

素顔の男

(悲鳴) コケッ。

スリーパーホールドをかける男のその姿は、確かに小林邦昭だ。

小林

質問が二つある。おまえは誰だ。それから、タイガーはどこだ。

素顔の男

名も無きサラリーマン1号です。

小林

変わったリングネームだな。正体は誰だ。

素顔の男

正体って、いや、そんな名乗るほどのものではない。第一、私レスラーじゃありません。

小林

レスラーでもないのに、どうしてリングの上に居るんだ。

素顔の男

それは、その、なんとなく。

小林

まあ、いい。それで、タイガーは。

素顔の男

帰りました。

小林

試合は。

素顔の男

終わりました。

小林邦昭、時計を見て・・・

小林

まだ八時十五分だぞ。三本勝負で、もう試合が終わってるって、いったいどうということだよ。

素顔の男

どういふことでしょう。

小林

観てたのか、試合。

素顔の男

あ、はい。

小林

どうだった。

素顔の男

どうだったって、引き分けでした。

小林

・・・そうか。

素顔の男

あの・・・。

小林

ん？

素顔の男

小林・・・小林邦昭選手ですよ。

小林

ああ。

素顔の男

あの、伝説の、覆面ハンター、小林邦昭選手ですよね。

小林

まあ、そんな風に呼ばれたこともあったかな。・・・昔ね。

素顔の男

本物だー！ どどどどどどうしよう。どうする、どうすれば、どうするとき、どうすれども、どうせよ。えっと、あの、その。

小林

？

素顔の男

あの、握手してもらってもいいですか。

小林

どうぞ。

二人、握手。

素顔の男

あ、ありがとうございます。記念にこっちの手は出来る限り洗わないでお願いします。

小林

(苦笑い)

素顔の男

あの、一緒に写真をとっても・・・

小林

どうぞ。

素顔の男

あ、ありがとうございます。

素顔の男、ポケットを探るが・・・

素顔の男

あ、そうか、携帯忘れてきてたんだった。ああ、馬鹿、馬鹿、俺の馬鹿！

小林

いいですよ。

素顔の男

あ、あ、ありがとうございます。

素顔の男、ポケットを探るが・・・

素顔の男

・・・あれ、ペンもない。あの、こちらからサインを頼んでおいて、なんなんですけど、ペンとかマジックとか、お持ちじゃありませんか？

小林

(ペンを取り出して) ありますよ。で、どこに。

素顔の男

じゃあ、手帳、手帳にお願いし・・・

素顔の男、ポケットを探るが・・・

素顔の男

ようかと思っただんですけど、あの、すみません、ここに。

素顔の男、右手を出す。

小林

そこですか？

素顔の男

はい、ドカンとでっかくお願いします。

小林

いいんですか、手で？

素顔の男
はい。もうこつちの手は死んでも洗わないようにします。なんなら落ちないように、入れ墨みたいにしてもらっても結構です。

小林
(苦笑) いや、それはまずいでしょ。(サラサラとサインして) お名前は？

素顔の男
いや、その、名乗るほどのものですか？
宛書、入れなくてもいいですか？

素顔の男
あ、あの、じゃあ「ヤマダサトルさんへ」をお願いします。山田の山は、山田の山で、山田の田は、山田の田です。サトルは耳へんに心です。

小林
(書いてみて) 山田恥？

素顔の男
ちがった、耳へんにハを書いてムを書いて心です。

小林
ああ、はいはい。

素顔の男
すみません、緊張しちゃってて。

サイン完成。

小林
はい、どうぞ。

素顔の男
ありがとうございます。大切にします。もう今日から右手は使いません。インド人になんと言われようとも、ごはんも左手だけで食べます。

小林
(苦笑)

素顔の男
あの。

小林
なんです。

素顔の男
もう一つだけお願いが。

小林
なんですか？

素顔の男
ローリングソバット。

小林
え？

素顔の男
ローリングソバットをしていただけないかな、と。

小林
あなたに？

素顔の男
はい。私に。猪木さんの張り手みたいに、バシーンと。

小林
格闘技の経験とかないんでしょ？ 危ないですよ。

素顔の男
是非お願いします。

小林
本当に危ないから、やめといた方が。

素顔の男
あの、お願いします。ファンなんです。実は私、プロレスとかあんまり見ないんですけど、あなただけは別です。昔ね、兄貴がタイガーマスクが大好きでね、無理矢理テレビで見せられたんですよ、あなたとタイガーマスクの試合。強かった。絶対にあなたが勝つと思いました。今でも覚えてます。でも、その試合で、もうあとはフィニッシュホールドだけだ、ここで絶対フィッシャーマンズスープレックスだつてところまで追い詰めたのに、突然タイガーの覆面を破こうとして・・・確か、反則負けだった。次も、その次の試合も。フォール負けしても、リングアウトで負けても、とにかく覆面ばかりを狙って。

小林
・・・懐かしいな。シングルで7試合して0勝7敗。うち、反則負けが4回。負け越しなんてもんじゃないな。全敗だ。

素顔の男

本当は、勝てたんでしょ。

小林

(微笑) さあ、どうかな。

素顔の男

絶対勝てましたよ。

と、遠くから誰かの話し声が聞こえてくる。

小林

・・・ん？ 隠れる！

素顔の男

え、な、なんですか？

小林

いいから来い！

小林邦昭と素顔の男、すばやくリング下に身を潜める。

タイガーマスクと mascarass が入ってくる。

タイガー

多分この辺で落としたと思うんですよ。ほら、場外で椅子持ってバタバタやっていた時。

mascarass

ああ、あの時ね。俺もあの時は落としそうになった。

タイガー

落としそうになったって、何をですか。

mascarass

命だよ、命。椅子でガチーンといかれた瞬間に、なんかね、見えたもん。目の前に大きな川と、その向こうに広がるきれいなお花畑が。

タイガー

ガンジス川とデカン高原ですね。

mascarass

三途の川だよ。三途の川と彼岸の景色だよ。

タイガー

あらら。

mascarass

あららじゃないよ、まったく。もう覚えてたろうな、椅子。

タイガー

ばっちりです。

タイガー、椅子を持ってみる。

が、見事に何もかもが間違っている。

mascarass、椅子を取り上げて、正しく一撃。

mascarass

違ーう！ こーうだ。

タイガー

ありがとうございます。

mascarass

次こそ間違わないように。

タイガー

努力します。

タイガー、まだ何かを探しながら・・・

タイガー

ないですわねえ。

mascarass

ないか。

タイガー

もっと真剣に探してくださいよ。

mascarass

探すつたつてなあ、どんなものかも分からないのに、探せないだろ。

タイガー
マスカラ
だからですね、丸くって、ちっちゃくて、三角で。
だからなんだよ、それは。丸くって、ちっちゃくて、三角って、サクマの

イチゴみるくか。

タイガー
なんすか、それ。

マスカラ
うわあ、ジェネレーションギャップ。なんだか急に寂しくなったよ。

マスカラス、秋風に吹かれる。

タイガー
だからお願いしますよ。

マスカラ
だから、なんなんだよ。

タイガー
だから、丸くて、ちっちゃくて、三角だって言ってるでしょ!!!

マスカラ
だから、それはサクマのイチゴみるくなんだよ!!!

タイガー
だから、僕が探してるのは、そのサクマのイチゴなんとかじゃないんですってば!!!

マスカラ
だから、そういう風に言われると、それしか浮かばないんだよ。もう俺の中では上の句と下の句ぐらいに繋がってるんだよ。

タイガー
どういう意味ですか。

マスカラ
こういう意味だよ。問題をよく聞いて、次に繋がる言葉を答えなさい。第1

問、「ノーリーズン」

タイガー
コココーラ。

マスカラ
「チョコレート、チョコレート、チョコレートは」

タイガー
明治。

マスカラ
「覚えていますか栗の味」

タイガー
湖月堂の栗饅頭

マスカラ
「車売りマックス」

タイガー
オートマックス

マスカラ

というようにだ、丸くてちっちゃくて三角でって、言われると、何がどうなってもサクマのイチゴみるくなんだよ!!! 答えないだろう、ノーリーズン、意味不明とか。車売りマックス、マッドマックスとか、覚えていますか栗の味、はい、もちろんです。とか。

タイガー
何をそんなに興奮してるんですか。

マスカラ
(ふらつく) け、血圧が。ちよっと、あっちで休んでるから。

タイガー
またそんなこと言って・・・。

マスカラス、小林邦昭の隠れているほうへと歩いていく。

小林邦昭、突然マスカラスの背後に現われると、チョコレートスリパーでマ

スカラスの意識を飛ばす。

素顔の男

凄い。

小林

静かにしてる。

タイガーマスク、辺りを探すが見つからない。

タイガー ちよつと、ちゃんと探してくれてます？

タイガー、小林の方へ行く。

倒れているマスカラスを発見して・・・

タイガー あー、もー、信じらんねー。ホントに休んでるよ。・・・って、あれ？ 大

丈夫っすか？ まさか、本当に血圧？ 大変だ、誰か、誰か呼ばなきや。

小林、タイガーの背後に突然現われ、スリーパーホールド。

タイガー ゲフツ。

タイガー、小林邦昭に気付いて・・・

タイガー うわあ、誰か、誰かた（すけて）！

小林 タンバリンが叩ける奴はいないかー！！

小林、タイガーの口を塞ぐ。

小林 大声を出すな。

タイガー （無言でうなづく）

小林、タイガーの口を開放。

間。

小林 助（けて）！！

タイガー タスマニアタイガーを飼ってる奴はいないかー！！！！

小林、タイガーの口を塞ぐ。

小林 明日もリングに立ちたかったら、大声を出すな。次は無いぞ。

タイガー （無言でうなづく）

小林 よし。

小林、タイガーの口を開放。

間。

静寂。

小林 何人目だ。

タイガー え？

小林 おまえは何人目だ。

タイガー なんのことですか？

小林 何代目なのかって聞いているんだよ。

タイガー え、ええと、二枚目です。

小林 ふざけるなー！！

タイガー (悲鳴) ニャー！！

小林 顔を隠しといて二枚目も三枚目もあるかー！！ お前は何代目なのかって聞いているんだよ、俺は。佐山か、三沢か、金本か、それともどこの馬の骨ともしれないような奴か。

タイガー どれも違いますが、しいて言えば馬の骨です。

と、奥のほうから声がする。

二人 どうした、誰か呼んだか？

古館とMr高橋が登場。

古館 私はタンバリンが叩けます。

Mr高橋 俺は絶滅したはずのタスマニアタイガーを飼ってるぞ。

リング上にタイガーと小林を発見。

Mr高橋 小林・・・邦昭。

古館 小林、小林邦昭だつ。昭和の伝説、虎伝説とともに生きる、永遠の虎ハンター、覆面ハンターの伝説。小林邦昭がリング上だ。

Mr高橋 今更、何しに出てきた。

小林 狩りに来たのさ。

小林邦昭、タイガーの覆面に手をかける。

古館 おおっと、タイガーの覆面に手がかかった。このまま一気にその覆面を引き剥がそうと言うのか。

タイガー 解説してないで、助けてくれよ！！

古館 そうは言っても所詮はアナウンサー。出来ることといえば喋ることだけ。

Mr高橋 そうは言っても所詮はレフェリー。出来ることといえば裁くことだけ。

古館 せめて、言葉の暴力で応援します。

Mr高橋 せめて、反則カウントだけは入れてあげます。

古館

顔はやめて、顔はやめて、わたし覆面レスラーよ。これこそ正にリング上のドメスティックバイオレンス。リング内暴力だ。さあ、レフェリーミスター高橋がチェックに行く！

Mr高橋、反則チェックに駆け寄り・・・

Mr高橋

ノーノーノーノー、ワン、ツー、スリー、フォー・・・

小林、一瞬タイガーの覆面から手を離す。

が、カウントが途切れた瞬間再び覆面に手をかける。

古館

離れた。しかしまた顔だ！ 五秒以内なら反則であって反則でない。疑惑のグレーゾーン。リング上の駐車禁止。夜の中州の客待ちタクシー。法であって法でない。だからといって五秒以内なら何をしてもいいというのか。ノーノーノーノー、ワン、ツー、スリー、フォー、ファイ・・・

Mr高橋

小林、ギリギリでタイガーの覆面から手を離す。

古館

カウント4、999！ 千分の一秒のチキンレース。さながら目隠しで地上20mのタイトロップを行く、サーカスのピエロか。さあ、タイガー抜け出せるか？

タイガー

レフェリー、レフェリー！

Mr高橋

何。

タイガー

ちゃんとしろよ、全然役に立ってないだろ、お前！！

古館

なんとタイガー、レフェリーに向かって役立たず発言だ。それは失礼。あまりにも無礼。どう考えても非礼。

小林、再び覆面に手をかける。

が、Mr高橋、見て見ぬふり。

古館

ああ、取りません、反則カウントを取りません。仏の高橋が鬼になったか。これこそリング上の棚ざらし。マットの上の転居先不明郵便。そのところはいつまで待っても返事はこない。

小林

終わりだな。

小林、マスクを外しやすいよう、タイガーをヘッドロックに取り、マスクのひもを解いていく。

素顔の男

行け、やっちゃえ！！！！

タイガー

おい、レフェリー、カウント、反則だろ、カウントしろよ。ふざけんなよ、

バカ、インポ、ペレ、ED！！

古館 暴言。タイガー、レフェリーに向かって暴言だ。しかし、これはどう考えても逆効果。

タイガー (好きな罵詈雑言をどうぞ) へらちよんぺ、カマドウマ、便所コオロギ・・・
Mr高橋 (タイガーの口を指して) ノーノーノー、ワン、ツー、スリー・・・
古館 なんとタイガーの罵詈雑言に対してのカウントだ。さすがにこれは前代未聞プロレス界の二出川延明(にでがわのぶあき)。文句があるか、俺がルールブツクだ！！

タイガー お前もだ、この過剰修飾の役立たず二枚舌！！

古館 それは私か、私のことか。なんと、この私に向かってても役立たず発言だ。どこの馬の骨ともしれない、虎の皮をかぶっただけの、時給五六百円そこらのブルーカラーが、立教大学経済学部卒の、年収8千万の、世間一般の尺度で言えば間違いなくエリートの人に当たって、身の程知らずな役立たず発言だ。引いては立教OBの、関口宏に長島茂雄、野際陽子とみのもんた、くりいむしちゆーの有田哲平にまで弓引くような発言だ。忘れていたが、長島一茂も怒っているぞ。

古館、リングに上がる。

古館 てめえ、この飼い虎、調子乗ってんじゃねえぞ！！

古館、マイクでタイガーを攻撃しようとする。
と、小林のローリングゴバットが古館に炸裂。

古館 おごっ！！
小林 手を出すんじゃねえ。これは俺の獲物だ！！

小林、古館と乱闘。

と、解放されたタイガーは一直線に、Mr高橋の方へ。
タイガー、Mr高橋に馬乗りになってパンチの連打。

Mr高橋 ノーノーノー、ワン、ツー、スリー、フォー・・・
タイガー お前、この、クソレフェリー、バカレフェリー、(意味不明) 北村、辺見、恩氏、バカバカバカバカッ！！

Mr高橋、体勢を入れ替えてタイガーを組み敷きパンチの連打。

Mr高橋 俺がルールだ。俺がルールなんだよ、俺が裁くんだよ、黙って従えよ。この、バカ虎、アホ虎、エキストラ上りのクソ虎が。リストラしてサーカスに売り飛ばすぞ、コラア！！

リング上、大乱闘になる。

マスカラスも正気を取り戻し、乱闘に参戦。

マスカラ

なんだ、どうした、状況がよく飲み込めん。飲み込めんが、とりあえず、落ち着け、収まれ、ほら。俺の踊りを見る。そして酔いしれる。平和に行こう。いわゆるピースだ。のんちゃんとかいう不細工とサカってガキが出来た、窪塚なんとか風にピースだ。ちなみに子供の名前は愛が流れると書いて、アイルちゃんだそう。愛が流れてはいかんだろう。愛は留まらなきゃ。愛が留まると書いてアイル。苗字がトンセナさんとかランドさんとか、そういう人と結婚すると、愉快な名前になるな。トンセナさんは兎も角、ランドさんぐらいなら、アイダホ州とかコネチカット州あたりで農業でもやっていそうな気もするな。おお、そう。だ。ビーバックさんとかどうだろか。アイル、ビーバック。このシリーズならなんでもオツケだ。アイル・リメンバー。ええと、アイル、アイル・・・なんでもオツケだとか言った割に、案外英単語が浮かばないもんだ。おい、お前ら、人の話を聞け。通信簿に書くぞ。落ち着きがなく、人の話を静かに聞くことが出来ませんって。まあ、そう書かれたのは昔の俺なわけで、そう書いた、俺の担任の森先生って人もまたこれが話がよく脱線して、脱線したまま宇宙を目指してしまうような、銀河鉄道999のようなわけのわからない先生だったわけで、その頃から考えたわけだよ、相対評価と絶対評価の問題点について。(小林に気付いた) わつ、なんであいつが。

マスカラス、反射的に隠れる。

が、リング上の混乱に覚悟を決めて・・・

マスカラ

と、平和裏に解決してみようと思ったが、ことここに至っては致し方あるまい。チエストー!!!

マスカラス、小林に向かってフライイングクロスチョップ。

小林邦昭 vs タイガーマスク・ミル・マスカラス

タイガーマスク vs Mr高橋・古館伊知郎

その大騒ぎの中、Mr高橋と古館に二人がかりで攻撃され、タイガーが失神。

その隙に素顔の男、タイガーの覆面を剥ぎ取ろうとする。

素顔の男

小林選手、小林選手、ほら、マスク!

と、小林、電光石火のキックで素顔の男を打ち倒す。

転がり、地面に這いつくばる素顔の男。

小林 手を出すな、これは俺の獲物だ！！

小林、タイガーをコーナーポストに逆さ吊りにし、再び自らタイガーの覆面に手を掛ける。
割ってはいるマスカラスとMr高橋。
鳴り響くゴング。

素顔の男 どうして。

怒号と喧騒が、静寂に変わる。

素顔の男 どうしてまた一人に。どうしていつも、私だけが残されるんでしょうか。

男をどこか遠くに連れ去るように、通過する列車の音。

(シーン2終了)

舞台上に一人残される素顔の男。

顔の片側から朝の眩い陽を受けて、ポツリと座っている。

素顔の男、静かに目を閉じ、うなだれる。

素顔の男

・・・。

と、物陰からMr高橋がこっそりとカウントを入れている。

Mr高橋

1・2・・・

素顔の男の目が開く。

素顔の男、必死に眠気を飛ばそうと顔を叩いたりする。

が、やがて睡魔に負け、船を漕ぎ始める。

Mr高橋

1・2・・・

ギリギリで素顔の男の目が開く。

素顔の男、必死に眠気を飛ばそうと顔を叩いたりする。

相変わらずしぶといわね。

ええ。

Mr高橋
古館

三秒でいいのよ、三秒居眠りすれば、すぐ辞めさせられるのに。

古館

社内労働規約、第二十五条。三秒以上居眠りをした者は、職務怠慢とみなし、

Mr高橋

そ。・・・普通なら3日も持たないんだけどねえ。

古館

そうでしょう。

Mr高橋

現にあいつだけなのよ、残ってるの。

古館

いつからなんですか。

Mr高橋

もう3年目。

古館

年！？

Mr高橋

石の上にも3年を地で行ってるの。そろそろ悟りでも開くかもしれないわ。

古館

ある意味クビにするには惜しい人ですね。

Mr高橋

あの集中力が、どうして仕事に生かせないのかが不思議なのよね。

古館

僕なら半日で発狂しますね。

Mr高橋

私でも1日持たないわ。自信がある。

古館

しかし、この部屋の噂、聞いてましたけど、酷いもんですね。

Mr高橋

まあね。

古館

誰が考えたんですか、これ。

Mr高橋

私。

古館

高橋課長がですか。

Mr高橋

そ、私。

古館

鬼ですね。

Mr高橋

君も入る？

古館

ご冗談を。

Mr高橋

入社一年目で、配属が資料整理室。伝説になるわね。

古館

なりたくないです。

Mr高橋

勤続一年未滿じゃ、退職金の夕の字も出ないけど。

古館

この就職難のご時世にようやく仕事見つけたのに、いきなりリストラされたんじゃたまらないですよ。

Mr高橋

そうなりたくなかったら、君の仕事をきっちりやることね。

古館

はい。

Mr高橋

分かってるなら、ほら。

古館

はい、行ってきます。

古館、ノックして部屋に入る。

素顔の男

・・・どうぞ。

古館

失礼します。人事課の古館です。はじめまして。

素顔の男

はじめまして。資料整理室の山田です。

間。

素顔の男

あの、何か？

古館

ええ。その、えーと。

素顔の男

何でしょうか。

古館

秋ですね。

素顔の男

はい。

古館

辞めたくありませんか。

素顔の男

はい？

古館

秋になると、辞めたくありませんか。

素顔の男

いいえ。

古館

リングをかじると、血が出ませんか。

素顔の男

あ、はい、少しは。

古館

リングをかじると血が出るように、秋になると辞めたくありませんか？

素顔の男

いいえ？

古館

そうですか。失礼しました。

古館、首をかしげながら部屋から出てくる。

古館

課長、ダメでした。

Mr高橋、古館に握手を求める。

握手に応える古館。

と、Mr高橋、そのまま古館の手を捻り上げる。

古館

いのでででっ！！

ふろろくたくくくん。私が聞きたいのは「ダメでした」とか「できませ
んでした」とかって、そういう否定的なお返事じゃないんだけどな。

やっぱりそうでしょうね。

資料整理室とは形だけ、真の名前は人員整理室。入ればあとは退職まで一気
の寄りの電車道。

古館

ガタンガターン、ガタンガターン。

Mr高橋

出口無し、退職までの一本道。

古館

いわゆる窓際。

Mr高橋

仕事無し。

古館

電話無し。

Mr高橋

時計すら無し。

古館

業務内容は
待機。

Mr高橋

いつまでも

古館

待機。

Mr高橋

ひたすらに

古館

待機。

Mr高橋

9時から5時まで

古館

待機。

Mr高橋

なのに携帯電話の持込

古館

不可。

Mr高橋

新聞なんかもちろん

古館

不可。

Mr高橋

雑誌なんて言うまでもなく

古館

不可。

Mr高橋

たばこもお茶も

古館

不可不可不可。

Mr高橋

だからって居眠りをしたら

古館

解雇。

Mr高橋

よそ見をしたら

古館

解雇。

Mr高橋

私語をしたら

古館

私語をしたら

Mr高橋 解雇。
古館 どっちにしたって
Mr高橋 解雇。
古館 恐ろしい。

と、そこに昼休みを告げるチャイムの音。

Mr高橋 お昼か。
古館 ですね。

素顔の男、やおら立ち上がり、背伸びを一つ。

古館 課長、背伸びです、背伸びしました。勝手に背伸びです。解雇ですか。
Mr高橋 残念だけど、昼休み、休憩時間だからね。背伸びしようが、間延びしようが、なにしようが自由よ。

素顔の男、コーナートップに立ち、ポーズを決める。

古館 あれは、何をしてるんでしょう。
Mr高橋 さあ。

素顔の男、突然部屋の中をロープワークのように走り回る。
そして見えない敵とレスリング。

古館 プロレス、ですかね。
Mr高橋 そうみたいね。
古館 いったい何と戦ってるんでしょうか。
Mr高橋 なんか根拠のないものとじゃないの。いい傾向ね。かなりキてるわ。あとはこれを業務時間中に行ってくれさえすれば。
古館 解雇ですか。
Mr高橋 百%いけるわね。

素顔の男、見えない何かをフオール。
両手を上げてガッツポーズ。
どうやら見えない何かに勝つたらしい。
コーナートップに登り、再びアピール。
そして窓枠を乗り越え・・・飛び降りた。

古館 # わー！！
Mr高橋 # わー！！

二人、慌てて室内に駆け込む。

Mr高橋

ちよつと、勘弁してよ。

古館

(慌てている) ワー、ワー、ワー!!

大急ぎで窓に駆け寄るが、階下を見下ろす勇気が出ない。

Mr高橋

お先にどうぞ。

古館

課長こそお先にどうぞ。

冷たい間。

Mr高橋

まずいわね。

古館

まずいですよね。

Mr高橋

下まで何メートルあると思う。

古館

ここ、9階ですから、多分三十メートルぐらいは。

Mr高橋

三十メートル飛び降りて、見事に着地であると思う？

古館

スーパーマリオなら大丈夫だと思います。

Mr高橋

でも山田はゲームじゃないしね。

古館

スーパースイヤ人でも大丈夫だと思います。

Mr高橋

でも山田はマンガでもないしね。

古館

じゃあ、スーパーマヤマダならどうでしょうか。

Mr高橋

そんなお惣菜の安そうな店の名前だったとして、なんだって言うのよ。

古館

課長。

Mr高橋

何。

古館

現実逃避するのやめて、覚悟を決めましょうよ。

Mr高橋

だから、どうぞ。

古館

課長こそどうぞ。

Mr高橋

古館くんどうぞ。

古館

うわあああ。

二人、お互いを窓際にしようとするくと体を入れ替える。

古館、窓際に追い詰められて・・・

古館

なんで僕が。

Mr高橋

情けない。男でしょう。玉ついでるの？

古館

それってセクハラです。男だから見ろってことなら、僕なんかより課長の方がよっぽど男らしいですよ、みんな呼んでますよ、課長のこと。ミスター高橋

古館

って。

Mr高橋

うるさい黙れ。わたしだつて昔はピチピチのOLで、新人らしい可愛いミス
をちよくちよくやって、課長に媚びて謝るようなキャラだった時代もあったの
よ。ついたあだ名がミス高橋。それがいつのまにやらオールドミス高橋。いつ
の頃からかミスター高橋よ。

古館

せめてイチニのサンで一緒に見ませんか。ほら、急げばもしかしたらまだど
こかに引っ掛かってたりとかするかもしれないし。

Mr高橋

・・・わかったわよ。

古館

じゃあ、いきますよ、イチニのサン！

二人、階下を見下ろす。

顔を覆っていた手を一本づつ外して・・・

Mr高橋

あれ？

古館

いません・・・ね。

Mr高橋

よく探して！

古館

山田さん、山田さん、山田さん、あ！

Mr高橋

いた！？

古館

あそこ、あそこに山田花子に良く似たおじさんが歩いてます。

Mr高橋

(脳天唐竹割り) そんなこと、いちいち報告しないでいい。

古館

あと、あそこに山田太郎に良く似たキヤッチャーが構えてま・・・

Mr高橋

(無言で逆水平チョップ)

古館

すみません。

Mr高橋

もう原形をとどめてないのかもしれない。よく探して！ どこかそこらへん
に赤いじゅうたんみたいなのが広がってないか。

古館

ちよつと前まで山田さんだったモノ。ちよつと前まで山田さんだったモノ。

・・・あ。

Mr高橋

あつた！？

古館

あその電柱のところ、やたらカラスと猫がたかつてるような。

Mr高橋

まさか、グチャグチャのペディグリーチャム状態？ エサ？ エサなの？

古館

良く見えないです。というか、見たくありません！

Mr高橋

どかしなさい。

古館

シッ！ シーッ！ 駄目です、僕の思いが届きません。

Mr高橋

どけ、生ぬるい！！

Mr高橋、そこらへんのものを手当たり次第に階下に投げつける。

古館

か、課長、やめてください。人に、人にあたります！

逃げ散るカラスの羽音。

Mr高橋
古館
Mr高橋
古館
Mr高橋
古館

・・・いない。
か、課長！！
今度は誰、山田まりや？ 山田五郎？ 山田太一？
カラスが。いや、あれは、カラスだけど、ただのカラスじゃなくて
ただのカラスじゃなくて？
ミル・マスカラスです！！

窓からミルマスカラスが飛び込んでくる。
同時にMr高橋と古館は舞台から消える。
スカイハイのテーマが流れる。

マスカラ

スカイ・ハイ。空、高く。見上げれば空、見晴るかす雲。その切れ間に、見ゆるまぼろし。高鳴る鼓動。鳴り響くファンファーレ。風のように花道を駆け抜け、羽のように軽やかにコーナートップへ。オーバーマスクを脱ぎ捨てれば、その下には千分の一の仮面。稲妻のようなフラッシュ。万雷の喝采。その中心へとオーバーマスクを投げやれば、熱狂は渦と化し、さながら一つの獲物を奪い合う戦いのリングへと変貌する。熱狂、歓声、スポットライトの眩い光。年齢を重ねるごとに、増えゆく弱さと消えゆく強さ。あのころの私は、たしかに空高く、自由な風の中。たしかに飛んでいたはずです。空、高く。

マスカラス、ポーズを決める。

が、次の瞬間、崩れるように片膝をつく。

その陰から現われたのは、素顔の男。

音楽。

素顔の男

ずっとこうやって窓際に座っているとね、時々思うんですよ。飛べるかな。飛べるかもなつて。でもね、同時に思うです。落ちる。絶対に墜ちるつて。飛べるかもしれない。いや、やっぱり墜ちるかもしれない。天秤の真ん中で、ユラユラと気持ちを揺らめかせながら、それでもどちらかに振り切れることもなく。長い間、カゴの中で鈍った羽で、いったいどこまで羽ばたけるんだろうつて。もしかしたら、もうこの翼は開かないんじゃないだろうか。昔は確かに飛べたはずだ。じゃあ、もしかしたら。もしかしたら、今でもつて。

素顔の男、さっきと同じようにマスカラスと戦う。

やがて、素顔の男の勝利。

素顔の男、翼のように両手を広げる。

鏡のように、同じように両手を広げるマスカラス。

それはプロレスの力比べの態勢のようでもある。

マスカラス、やがて振り向き・・・飛び立った。

その行方を目で追う素顔の男。

素顔の男

飛んだ！！

素顔の男、遠く天空を見上げる。

素顔の男

昔は確かに飛べたはずだ。昔は確かに飛べたんだ。飛べたからこそ、私は今ここに居る。休みすぎたのか。長く羽根を休めすぎたのか。いつのまにか飛ぶことを忘れ、気が付けば一人。

素顔の男、自らの腕を、何かを確かめるように触る。

素顔の男

もしかしたら。

素顔の男、窓から少し離れる。

素顔の男

もしかしたら、今でも！！

素顔の男、その両腕を羽ばたかせながら助走。

飛んだのか、それとも墜ちたのか。

その行方を見届ける間も無く、暗転。

(シーン3終了)

と、タイガーマスクが何かから逃げるようにやってくる。
逃げ疲れ、脅えた目で辺りを見回す。
すこし安堵した表情でその場に座り込む。
と、そこに小林邦昭の声が響く。

小林 どうした、もう終わりか。

小林邦昭が姿をあらわす。

タイガーマスク、立ち上がる気力がわいてこない。

小林 立て。

立ち上がらないタイガーマスク。

小林 聞こえないのか。

タイガーマスク、耳をふさいで聞こえないふり。

小林 ふざけるなっ！！

タイガーマスク、あろうことかリングに大の字になる。

小林 ……貴様。

タイガー (大の字のまま) 取りやいいでしょう、どうでもいいですよ、もう、何を言ってるんだ。

タイガー なんならこっちから脱ぎましょうか？ 慣れないもん被って、顔はかゆいわ
息苦しいわ。アンタに取られるまでもなく、こっちから脱ぎたかったところですよ。

小林、悲しげな表情。

タイガー、半身を起こし、自らマスクの紐をといていく。

小林 止める！！

タイガーにその手を止める様子はない。

小林、タイガーを蹴り飛ばす。

小林 止める。取るな。マスクを取るな。

タイガー、ずるずると起き上がり、またマスクを取ろうとする。

小林 (蹴る) 取るな。

タイガー (紐をほどき続ける)

小林 (蹴る) 取るな。

タイガー (紐をほどき続ける)

小林、渾身の力でタイガーを蹴り飛ばす。

転がり、朦朧とするタイガー。

小林 取るな。マスクを取るな！！ 俺を嫌え、俺を憎め、俺を蔑み、唾を吐け。

マスク一つも持たない俺を、下賤な奴隷と打ち据えろ。俺をむち打ち、足蹴にし、踏みつけ、転がし、踏みにじれ。そしていつまでも貴族のように、空だけを見つめている。汚れた地上を見ないように。澄んだ瞳を汚さぬように。

お前があきらめたら、俺はどうなる。お前があきらめたら、俺はどうする。

強い獲物を狩ってこそハンターだ。強い相手を倒してこそファイターだ。いいか、俺は虎ハンター、覆面ハンターだ。俺は猫殺しなんかじゃないんだ！！

タイガー 知らないっすよ、そんなこと。

小林 不敗神話はどこに行った。134戦、126勝8分。神話の終わりがこのザマか。俺は認めないぞ。そんな間抜けな話がこの世にあるか、あつてたまるか！

タイガー だって、俺、バイトっすから。時給六百五十円のバイトっすから。

小林 バイトだから何だ。責任がないとでも言うつもりか。

タイガー だからただのバイトなんだよ、俺は！！ 昔アンタと戦ったこともないし、今からアンタと戦う意味もわからない。もう勘弁してくれよ。

小林 虎だ。お前は虎になるんだ。

と、そこにマスクラスが追いついてくる。

マスクラス 大丈夫か！！ どう！

マスクラス、小林にフライングクロスチョップ。

小林 ぐはっ！！

小林、場外に転落。

待ちかまえていたMr高橋と古館に紐でぐるぐる巻きにされる。

小林 く、くそっ！！

小林邦昭、犬のように紐の端を電柱にくくりつけられる。

小林 ほどけ。くそっ、

小林、縛られたまま、ローリングソバットで抵抗。
しかし抵抗むなしく猿ぐつわをかませられる。
リング下に転がされる小林。

タイガー マスカラ なんなんすか、アイツ。ワケ分かんないっすよ。
まあまあ、しょうがないんだよ。タイガーマスクに小林邦昭ってのは、カレ
ーに福神漬けみたいなんなんだから。

タイガー 聞いてないっすよ、そんなの。

マスカラ 言ったよ。教えたじゃない。「タイガーマスクの基礎知識」主な必殺技。ド
ロップキック、ローリングソバット、ジャーマンスープレックス。で、主な対
戦相手が、ダイナマイトキッド、ブラックタイガー、グラン浜田、寺西勇、そ
して小林邦昭。

タイガー いや、確かに聞きましたけど。

マスカラ 覆面はぎにくるってのも言っといたでしょ？

タイガー それも確かに聞きましたよ。けど、こんなにしつこくついてくるなんて、思
いもしなかったですよ。1週間ですよ、1週間。試合の時だけならまだしも、
リングを降りても狙われるなんて。普通じゃない。おかしいですよ。・・・そ
ういう意味で聞いてないって言ってるんです。
災難だったね。

Mr高橋、リングに上がってくる。

Mr高橋 勘弁してよ。時給アップするからさ。

タイガー いくらですか。

Mr高橋 時給698円。

タイガー どこのお買い得品だよ。俺は冷凍のエビかなんかか、ブラックタイガーか。

Mr高橋 うまい。座布団一枚。

タイガー いららないよ。

Mr高橋 じゃあ、時給748円。

タイガー 座布団一枚50円か。

Mr高橋 暗算速いね。公文式？

タイガー どうでもいいだろ。

Mr高橋 その暗算に免じて798円。

タイガー だからどうして端数をつけるんだよ。

Mr高橋 じゃあ、650円。

タイガー 元通りじゃないの。

Mr高橋

まあ、ほら、このとおり。小林はこっちで見張っとくから。そういうことで、勘弁してよ。こっちもさ、来る来るって噂ばかりで、最近はずっかりご無沙汰だったもんだから、まさか本当に来るなんて、思ってもみなかったんだよ。それにしても、いったいどこから嗅ぎつけたんだか。

アナウンスが入る。

「試合開始5分前。まもなく投票締切り時刻となります」

「ファイブミニツトウバウト クロージングザベット」

Mr高橋

さあ、今日も元気に商売商売。

Masカラ

オッズは？

Mr高橋

いつもと同じ。あいつの勝ちか引き分けなら1.00001倍、お前の勝ちなら10万倍。今日も夢見る阿呆どもが、わんさかお前に賭けてるぜ。

Masカラ

そりやどうも・・・で、今日は。

Mr高橋

もちろん、（親指を下に）で。

Masカラス、小さく一つため息。

Mr高橋

（タイガーに）おい、始めるぞ。控え室に戻って。

タイガー

あ、はい。

Masカラ

椅子、覚えたね？

タイガー

ばっちりです。

タイガーとMasカラス控え室へと一旦戻る。

静かに始まりを促すゴングの音。

古館、静かにリング上へ。

古館

ただ今よりエスエアーアルエス世界ジュニアヘビー級タイトルマッチ、60分3本勝負を行います。赤コーナーより、チャンピオン、タイガーマスク選手の入場です！

タイガーマスクのテーマが流れ、タイガーマスク登場。

古館

さあ、戦慄の四次元殺法、タイガーマスクの入場です。135試合未だ負けなし。リング上の現人神。天井天下唯我独尊。天は人の上に人をつくらず。虎の名前に負けを許さず。不敗神話はどこまでつづくのか。タイガーマスク、今リングイン！

コーナートップに駆け上り、お決まりのポーズ。

リングインとともに、音楽フェイドアウト。

古館 青コーナーより、挑戦者、ミル・マスカラス選手の入場です。

「スカイ・ハイ」が流るが、マスカラスがでてこない。

古館

さあ、元祖四次元殺法、ミルマスカラスの・・・ミルマスカラスの・・・いや、出てこない。出てきません。これはどうしたことだ。現代によみがえる決闘巖流島。遅いぞ、武蔵。待ちかねたぞ、武蔵。臆したか、武蔵。だとすれば、リング上でじりじりと相手を待つタイガーマスクは即ち佐々木小次郎か。今日が敗れるその日なのか。

疾風のように花道を駆け抜ける影。

ミル・マスカラスだ。

古館

来た、マスカラス、マスカラスだ。

マスカラス、素早くリングに上がると、いきなりローリングソバット。虚を突かれ、場外に転がり落ちるタイガーマスク。

Mr高橋

ファイッ！

試合開始のゴング。

いきなりの場外乱闘。

マスカラス、椅子を持ってタイガーに襲い掛かる。

タイガーマスク、間一髪それを避けて・・・

タイガー

うわあああ、何やってんすか、逆、逆でしょ？ 椅子の方向！！

タイガー、ただならぬ殺気を感じ、リング内に逃げ込む。

椅子を持ったまま追いかけてくるマスカラス。

Mr高橋、間に割って入って、反則カウントを取る。

Mr高橋

ノーノーノー、1・2・3・4・・・

マスカラス、Mr高橋に椅子の一撃。

Mr高橋、その攻撃を紙一重でかわす。

タイガー

ちよ、ちよ、ちよっと、危ないですよ。

小林

もう逃がさんぞ。

タイガー

その声は。

マスクラス、覆面を脱ぎ捨てる。
その下の顔は・・・小林邦昭だ。

タイガー# 小林・・・邦昭。
Mr高橋# 小林・・・邦昭。
古館# 小林・・・邦昭。
古館 小林、小林邦昭だ。しかし、どうして、小林は確かにこのロープに捕らえられていたはずです。

古館、ロープを手繰り寄せる。
と、そこにはなんだか関係ない人がグルグル巻きにされている。

古館 誰だこれは。なんだかよく分からないことになっている。いったいこれはなんなんだ。

関係ない人、ダッシュで逃げ出す。

小林 さあ、かかってこい。
タイガー おい、なんだよ、話が違うじゃないかよ。
Mr高橋 大声を出すな。もう中継始まってんだぞ。
タイガー だからって、どうすりゃいいんだよ、勝てないよ、あんなヤツ相手に。だいたい、対戦相手が違うんだから、没収試合だろ。
Mr高橋 いまさらノーコンテストなんかにできるか。暴動が起きるぞ。
小林 物分りがよくて助かるぜ。
Mr高橋 俺が何とかする。
タイガー なんとかするって。
Mr高橋 とにかく、戦え。行け！ ファイツ！！

タイガーと小林邦昭の戦いが始まる。
圧倒的にタイガーの形勢不利。
と、そこに素顔の男が飛び込んでくる。

素顔の男 行けっっっ！ 頑張れ、小林邦昭！！
小林邦昭、バックドロップの体勢。
こらえるタイガーマスク。
しかし小林、渾身の力でゆっくりとタイガーを持ち上げ・・・
見事なバックドロップを決める。
リングに突き刺さったまま動かないタイガーマスク。

古館

決まった、決まりました。バックドロップ。小林邦昭の見事なバックドロップがタイガーをとらえた。

小林、タイガーを足で踏みつけにしてフォール。

Mr高橋

(ゆっくりとカウント)ワン・・・ツー・・・

タイガー、なんとかその足を払いのける。

小林、タイガーを足で踏みつけにしてフォール。

Mr高橋

(ゆっくりとカウント)ワン・・・ツー・・・

タイガー、またもやギリギリでその足を払いのける。

小林

(Mr高橋に)そういうつもりか・・・とことんまで腐ってやがるな。じゃあ、これはどうだ！

小林、タイガーに脇固めをかける。

タイガー

ギヤー!!!!!!

小林

ギブアップか？

タイガー

ノー！

古館

脇固めがガッチリ決まった、これは苦しいぞ。

小林

(更に締め上げる)ギブアップか？

タイガー

ギヤー、ギブギブギブ!!!!

Mr高橋、その声を見無視。

Mr高橋

おい、音声切れ!!! リングの音声切れ!!!

古館

了解。

小林

(ちよつと緩めて)お前、バイト先は選んだほうがいいぞ。

タイガー

次から気をつけます。

小林

そうしとけ。(締め上げる)

タイガー

ギヤー!!! ギブギブギブ、ギブアップだっつてんだろ、レフェリー!!!

Mr高橋、その声を見無視。

古館

これは苦しい。頭を上下に振ってこらえるタイガーマスク。

タイガーマスク、なんとか自力で体を半回転させて逃れる。

古館

体を返した。しかし、小林の腕ひしぎ逆十字だ。危ない、危ない、腕が伸びきってしまっはいけない。

タイガーがなんとかこらえるかにみえた瞬間・・・

小林

(くすぐる) コチョコチョコ。

タイガー

ぶははははは、(腕が伸びた) ギャー!!!

古館

伸びた伸びた、伸びきった。ニッコリ笑ってバツサリ斬る。これがアジアのプロレスだ!!!

タイガー

ギブアップ、ギブアップ、おかーちゃん助けてー!!!

と、決まっていた腕が汗ですべる。

タイガー、自分の両手をロックして防御。

古館

おっと、滑った。すかさずタイガーが抜け出す。

が、小林、そのままキーロックに移行。

古館

しかしそのまままキーロック!!! 流れるような関節技のフルコースだ。地獄の宴はいつまで続くのか。これはメインかそれとも前菜か。

タイガー

痛えええええ!!!

小林

ギブアップか。

タイガー

だからギブアップだっつてずっと言っただろ!!!

小林

そうか。だがゴングが鳴るまで外すわけにはいかん。

タイガー

(変な悲鳴) ミャー!!!

古館

決まっている、ガッチリ決まっている!!! これは辛い。この鍵にはピッキングは通用しないぞ。どうするタイガー。

と、花道から正体不明の覆面を被ったレスラーが飛び込んでくる。

古館

おっと、あれは何だ!?

正体不明のマスクマン、Mr高橋を背後から一撃。

Mr高橋、大変わざとらしく失神。

古館

なんとレフェリーのMr高橋に襲い掛かった。

マスクマン、続いて小林邦昭にストンピング。

タイガーマスクを救出する。

古館

続いて、小林邦昭にストンピングだ。タイガー命拾い。

マスカラ

マスク、俺のマスク、どこやった。

小林

このポロ布のことか？

マスカラ

それだよ、返せ、泥棒。

小林

悪い悪い。てっきり雑巾かと思つてたぜ。

小林、マスカラスのマスクで床を拭く。

マスカラ

あーっ！！ なんばすつとかきさーん！！

小林

こんなひでえ臭いのマスクがあるかよ。牛乳を拭いて一日掃除用具入れにつ

マスカラ

っこんどいた雑巾よりひでえ臭いがするぜ。

小林

このフローラルな香りがわからんのか！！

マスカラ

フローラルって、意味わかって言ってるのか。

小林

当たり前だ、このお花畑のようなかぐわしい香り。

マスカラ

お花畑って、何の花だよ。

小林

そうだな、例えるなら貴乃花のような。

だからそれが臭えつつつてんだよ。

小林、マスクを拾いあげて・・・

小林

臭え。ほら、嗅いでみるよ。あんたのマスク、嫌な臭いがするぜ？

タイガー、その隙にゆっくりと立ち上がり、小林の背後へ。

素顔の男

危ない！！ 後ろ！！

小林

！？

タイガー、小林を逆さ押さえ込み。

Mr高橋、瞬時に起き上がり・・・

Mr高橋

(高速カウント)ワツスリー！！

ゴング。

古館

入った、入った、カウントみつつ。一瞬の隙をついた逆さ押さえ込みだ。

タイガー、コーナートップに駆け上がり、勝利のポーズ。

古館 一本目、逆さ押さえ込み、逆さ押さえ込みで、タイガーマスク選手の先制です。

その隙にマスクを奪い返すマスクラス。
小林、ヘッドスプリングで起き上がる。

小林、余裕の表情でコーナートップにもたれかかって……

小林 チッ。油断したぜ。……まあいいさ、2本目だ。そら、さっさとゴングを鳴らせ。

Mr高橋、タイガーマスクのメデイカルチェックをする。
Mr高橋、タイガーにリングを降りるように指示。

(マイクをもって) お知らせいたします。タイガーマスク選手が先ほどの試合で受けました腕の怪我につきまして、メデイカルチェックのため、一旦ドレッシングルームに戻り、医師の診察を受けます。なお、試合続行が不可能の場合は、小林邦昭選手の勝利となります。試合再開までどうぞ今しばらくお待ちください。

タイガーマスク、マスクラスの肩を借りて控え室に戻っていく。

古館 さあ、大変なことになった。これが不敗神話の終わりか。神話の時代はあつけない幕切れを見せるのか。試合に勝って、勝負に負けるか。どうなんだ、タイガーマスク。

小林 (Mr高橋に) まさかこのまんま、なんてこたあないよな。
こつちも破産するのは御免だからな。

小林選手!!

ああ、来てたんですか。ええと、たしか、山田、山田ハムさん。

サトルです。耳へんにハを書いてムを書いて心です。

ああ、そうだった、そうだった。

駄目ですよ、気をつけないと。

面目ない。

汚いですよ、あいつら。

でも、それがプロレスですから。

カウントも小林選手の時だけ、早く入れたりして。

でも、それが敵役(かたきやく)ですから。

だからって。

小林 それも勲章みたいなもんですよ。たとえ試合に負けたって、どっちが本当に強かったのか・・わかるでしょう。たしかに記録では7戦全敗だった、だけど。僕の記憶では7戦全勝です。

素顔の男

小林、ゆるやかに微笑む。

小林 勝ちますよ、今日も。
素顔の男 はい。応援します。頑張ってください。

ゴングが鳴る。

Mr高橋、再びマイクをもってリング上へ。

Mr高橋 お知らせいたします。規定の時間内にタイガーマスク選手の治療が終わらなかったため、2本目を小林邦昭選手の不戦勝といたします。

素顔の男 やった、勝った、勝った！！

小林 ふん。

古館 なんと、2本目は小林だ。タイガー、2本目を失いました。これで1対1。勝負の行方は3本目の結果次第だ。

小林 おいおい、親切なこったな。わざわざこっちに一本とらせてくれるたあ、ど
ういう風の吹き回しだ？

Mr高橋 どうもこうもないさ。どうせ次は（親指を下にして）お前の負けなんだ。少
しは盛り上げとかないとね。

小林 そのきまぐれ、高くつくぜ。

素顔の男 あと一本、あと一本ですよ、小林選手！

小林 （親指を立ててその声に応える）

古館、リング上のMr高橋に手で○をつくってサインを出す。

Mr高橋 大変お待たせいたしました。試合を続行いたします。

古館 試合続行、試合続行です。神話は死なず。再び立ち上がる英雄伝説。

小林 そうこなくっちゃ。

古館 赤コーナーより、チャンピオン、タイガーマスク選手の入場です！

三沢版「タイガーマスクのテーマ」が流れる。

タイガーマスクが姿をあらわす。

先ほど決められた腕は、だらりと力無く下がっている。

古館 さあ、タイガーマスク、再び入って参りました。しかしながら先ほどのダメ
ージはいかばかりか。ああ、やはり辛そうだ。まさに満身創痍。傷だらけの手
負いの虎だ。さあ、タイガーマスク、今再びリングイン！

タイガーマスク、リングイン。

Mr高橋

3本目、ファイッ!!

3本目のゴングになる。
やはりタイガーの片腕はだらりと下がったまま。
片手での力比べ。

古館

さあ、力比べの体勢だ。しかしやはりタイガーは片腕が上がらない。

と、突如死んでいたはずの腕で、高速アッパー。
たまたらずもんどりうつて倒れる小林。

古館

アッパー! アッパーカット。不意打ち、闇討ち、騙し討ちだ!!

小林

バイトくんの割にはやるじゃねえか。

タイガー、起きあがった小林にフライングクロスチョップ。
素早く起きあがった小林に、メキシカンストレッチと見事な連続技。

小林

この技・・・貴様、マスカラスか。

マスカラ

正解。正解だが賞品は何もでないぞ。

小林

落ちぶれたもんだな、アンタも。他人のマスクまで被って。頼まれればなんでもやるのか。

マスカラ

頼まれる? 別に誰にも頼まれちゃいないぜ。

小林

なんだと?

シナリオ通りに負け続けるのに飽きただけさ。お前が相手なら、負ける必要はないからな。

小林

ほう。言ってくれるね。元の奴はどうした。

マスカラ

バイト君なら、控え室でおねんねしてもらってるぜ。一本とっただけで、一丁前のツラしやがって、次もやる気満々だったからな。

マスカラストайガー、小林の腕を絞り上げる。

Mr高橋

ギブアップか?

小林

効かんな、この程度。

小林、メキシカンストレッチに決められたまま余裕のピースサイン。

マスカラ

ベテランなめるとケガするぜ。

マスカラストайガー、そのままの体勢からダブルアームスープレックス。
しかし、小林邦昭、空中で技を外して着地する。

小林

そういうことなら、こつちも遠慮なくいかせてもらうぜ。

マスカラストイガーと小林、がっちり組み合う。

緊迫した攻防の中、小林が場外に転落する。

マスカラストイガー、場外の小林にブランチャーを狙おうとした瞬間、そこにもう一人のタイガーマスクが駆け込んでくる。

タイガー、いきなりリング上のマスカラスにドロップキック。

マスカラ

ぐはっ！！

タイガー

バイトなめんじゃねえぞ、コラ！！

古館

タイガーだ。タイガーのドロップキック。なんだ、何が起こっているんだ。

タイガーがタイガーにドロップキック。そして激しいストンピングだ。タイガー素早く起きあがって、タイガーにコブラツイストの体勢、裏の取り合いだ、めまぐるしい攻防、虎が回る、ぐるぐる回る。これはまさにリング上のチビクロサンボ。そんなに回るとバターになっちゃうぞ。

マスカラストイガー、目を回してダウン。

Mr高橋、大あわてで中に割って入る。

Mr高橋

何やってんだ、戻れ、今すぐ控え室に帰れ！！

タイガー

うるせえんだ、このイカサマ野郎！！

Mr高橋

今なんて言った、このバイト野郎。

タイガー

イカサマ野郎って言ったんだよ。みなさーん、目を覚ましてください。この試合ね、イカサマです、インチキです、はじめから勝ち負け決まってる！！

Mr高橋

だ、黙れ！！クビだ、お前はクビだ！！

タイガー

こちららフリーなアルバイター、通称フリーターだ。別にクビなんて怖くないんだよ。・・・見てろ、これが俺のルチャリブレだ。

タイガーマスク、Mr高橋のクビに噛みつく。

Mr高橋

ギャー！！

Mr高橋、たまらず場外にエスケープ。

古館

噛んだ、噛みついた！バイトが、いやタイガーが噛んだ。窮鼠猫を噛む。

タイガー、レフェリーを噛む。裁かれる者が裁く者へ、労働者が資本階級に歯向かった。これがルチャか、ルチャリブレなのか。いや、これは体制への反逆だ！！

タイガー

おい、お前ら、フリーターなめんじやねえぞ。会社の犬の下層労働者が。こちらら元祖高等遊民。金はなくても心は王様だ。

タイガーマスク、続いて古館の方へ向かってくる。

古館

そして、なんだ。私か。私の方へ向かってきた。この私にもその牙を剥こうというのか。これが報道だ。これがニュースだ。さながら私はリングサイドの小口小平。死んでもマイクは離しません。

古館、マイクを持って抵抗するが、あっさり噛みつかれる。

タイガー

うるせえんだ、この宣伝カーが！！

古館

ギャー！！

古館、もんどり打って倒れる。

タイガー

・・・見つけたぞ。丸くて、ちっちゃくて、三角。これが俺の牙だ！！

タイガーマスク、咆吼。

と、リング下からもう一人のタイガーマスク（Mr高橋）が登場。

さらにもう一人のタイガーマスク（古館）も登場し、リング上のタイガーマスク（マスカラス）と、本物のタイガーマスクのあわせて4人が入り乱れる。

リング下では古館タイガー・高橋タイガーvsタイガーマスク。

リング上ではマスカラストイガーvs小林邦昭。

その大混乱の中、小林がマスカラスを追いつめる。

素顔の男

行け！ そこだ！ フィニッシュホールド！！

小林邦昭、フィッシャーマンズスープレックスホールドの体勢。

素顔の男

フィッシャーマンだ、フィッシャーマンズスープレックスだ！！

小林

・・・さらば、タイガーマスク。135戦にわたる不敗神話よ・・・腐った神話もここまでだ！！・・・なあ、あんたのマスク、嫌な臭いがするぜ？

小林邦昭、マスカラストイガーを持ち上げる。

歓声、怒号、絶叫。

一瞬のブラックアウト。

その闇の中、激しくマットの音が響く。

静かに光が戻ってくる。

マットに叩きつけられたマスカラストイガー。
小林、そのまま見事なブリッジでフォールに入る。

素顔の男 (声でカウント) ワン、ツー、スリー!!!

ゴングは鳴らない。

素顔の男

どうして。ねえ、ゴング、ゴングは？ スリーカウント入っただろ。小林選手の勝ちだろ。レフェリー、レフェリー!!! カウントしろよ!!!

と、いつの間にかリング下のタイガー達は姿を消している。
小林、まだブリッジの体勢のままフォールしつづけている。

素顔の男

レフェリー、どこ行ったんだよ、カウントしろよ、(声でカウント) ワン、ツー、スリー!!!

やはりゴングは鳴らない。

素顔の男、たまらずリングに駆け上がって・・・

素顔の男

(実際にカウント) ワン、ツー、スリー!!!

静寂。

小林、ブリッジの体勢のまま・・・

小林

もういい。

素顔の男

もういいって、そんな。

小林、ブリッジから起き上がり、タイガーのマスクに手をかける。

小林

俺はやっぱりこれだろう。

素顔の男

だけど!!!

静かな間。

素顔の男

だけど、私はあなたに勝って欲しいんです。

小林

勝ったでしょ。スリーカウント。あなたがそれを知ってくれていれば、それで・・・十分です。

素顔の男

でも、それじゃあまた反則負けに。

小林

レフェリーがいないのに、誰が判定するんです？

素顔の男

それはそうですけど。でも!

小林
(静かな笑い)

素顔の男
私はみんなに知ってほしいんです。本当は、あなたの勝ちなんだって。本当は、あなたの方が強いんだって。記憶だけじゃ駄目なんです。記録にも残ってほしいんです。小林選手！

小林、優しげに首を横に振る。

小林
でも、それは誰も望んでいないことです。

素顔の男
私が。僕がいます。

小林
夢は夢のまま、神話は神話のまま、たとえ朽ち果て、腐れ落ちても、それを信じたい。そう思うことは罪ではないから。

弱い自分を知っているから、強い何かに自分の思いを託したい。そう思うことは罪ではないから。たとえば、あなたのように。

素顔の男
僕は、そんな。

小林
きつとそれは、強固な何かに立ち向かい、追いつめる、そんな姿への憧れです。偽りを剥ぎ取り、真実を晒け出す、それが小林邦昭という名の仮面です。

だからこそ、私は勝つてはいけません。

素顔の男
どうしてですか。わからない、僕にはわかりません！！

勝たなければならぬのは、私ではなく、あなたですから。あなたの思いを背負って戦うことはできる。でも、あなたのかわりに勝つことはできない。

小林、素顔の男にローリングソバット。

素顔の男、はじき飛ばされる。

小林
・・・ありがとう。

素顔の男
小林選手！！

小林邦昭、タイガーのマスクを一気に剥ぎ取る。

そのマスクの下には・・・誰とも知れぬ男の顔。

小林、その顔の上に剥ぎ取ったばかりのマスクを投げ捨てる。

静かな間。

と、そこに突然響き渡るゴングの音。

「ただいまの試合は、20分18秒、20分18秒、小林邦昭選手の反則負けです。

最終オッズは1.00001倍、1.00001倍となりました。

DRAW GAME.

FINAL ODDS 1.00001 for DRAW-GAME or Tiger's WIN. Thank you.]

小林邦昭、敗れてなお、笑顔。

素顔の男に向かって、静かに勝利のガッツポーズ。

音楽。

と、花道から次々にタイガーマスクがあらわれ、小林に襲いかかる。
小林、その攻撃を次々に払いのける。
タイガー、今度はその手に凶器を持ち、小林に襲いかかってくる。
凶器の名は、キーボード。
袋、たたきにあう小林邦昭。
しかし、威風堂々と・・・

小林

憧れを捨て、黄昏の空に飛べ。黄昏の陽に己が身を焦がし、憧れを捨て、黄昏の空に飛べ。空、高く。

その言葉にコーナートップに駆け上がる素顔の男。

黄昏の夕空。

その逆光の中、一人立ちつくす素顔の男。

小林、タイガーの勢いに少しづつ押され、ついにコーナーポストに押しつけられる。

小林に一斉に襲いかかるタイガー。

(シーン4終了)

電柱のゴミ袋をあさる野良猫。

残飯を巡っての大喧嘩が繰り広げられている。

コーナートップに立ちつくしたままの素顔の男。

ノラ猫 1
フーッ!!!

ノラ猫 2
ニヤーツ!!!

ノラ猫 3
ミギヤー!!!

ノラ猫 4
ニヤーツ!!!

ノラ猫 1
お前コラ、一人で食うんじゃねえよ。

ノラ猫 2
見つけたの私よ。

ノラ猫 3
そうだ、ちゃんと分ける。

ノラ猫 4
うるせえ。食いたきや実力で奪い取れ。悪いが俺は共産主義者じゃない。実

力主義者だ。

ノラ猫 1
実力主義じゃなくて暴力主義だろ。

ノラ猫 2
暴力反対。

ノラ猫 3
戦争反対。

ノラ猫 4
食いしん坊万歳。

ノラ猫 1
だから一人で食うんじゃねえよ。

ノラ猫 2
私が見つけてきたのよ!

ノラ猫 3
やめる、こら、俺にも食わせる。

ノラ猫 4
お前のモノは俺のモノ。俺のモノも俺のモノ。

ノラ猫 1
ジャイアンだ。

ノラ猫 2
ジャイアンだ。

ノラ猫 3
ジャイアンズムだ。

ノラ猫 4
ガタガタ言うやつはリサイタルにご招待だ。

猫ども、プロレスの大乱闘。

ノラ猫 2
(ふと空を見上げて) 人が!!!

ノラ猫 3
え、どこ?

ノラ猫 2
あそこ!

ノラ猫 1
飛び降りる。

ノラ猫 2
飛び降りるぞ。

ノラ猫 3
馬鹿が飛び降りるぞ!!!

ノラ猫 4
飛び降りてエサになるぞ!!!

ノラ猫 全
馬鹿が飛び降りるぞ!!!

素顔の男
馬だの鹿だの4つ足のケダモノと一緒にするな。俺は飛ぶぞ!!!

ノラ猫 1
飛んでる。

ノラ猫2
イツちやってる。

ノラ猫3
飛ぶだって。

ノラ猫4
人のくせに飛ぶだって。

ノラ猫1
飛び降りるぞ。

ノラ猫2
飛び降りるぞ。

ノラ猫3
キチガイが飛び降りるぞ！！

ノラ猫4
匿名希望の人妻が飛び降りるぞ。

ノラ猫1
17歳少年が飛び降りるぞ。

ノラ猫2
37歳中年が飛び降りるぞ。

ノラ猫3
停まらない列車から。

ノラ猫4
ビルの9階から。

ノラ猫1
社会のシステムから飛び降りるぞ。

ノラ猫2
心なか。

ノラ猫3
痴情のもつれ。

ノラ猫4
借金だろ。

ノラ猫1
不倫の清算。

ノラ猫2
ヤク中なんだろ。

ノラ猫3
異常者だな。

ノラ猫4
リストトラらしいぞ。

ノラ猫1
行き場を無くしたサラリーマンか。

ノラ猫2
ベルトを無くしたチャンピオンだってよ。

ノラ猫3
牙を無くしたタイガーマスクだ。

ノラ猫4
伝聞だつてさ。

ノラ猫1
推定らしいぞ。

ノラ猫2
病気を苦にして。

ノラ猫3
なんとなく。

ノラ猫4
抗議の自殺だ。

ノラ猫1
反戦アピール。

ノラ猫2
バンジージャンプじゃないの。

ノラ猫3
なにかの撮影だつて聞いたぞ。

素顔の男
五月蠅い！！ ガタガタ騒ぐな！！

ノラ猫4
まて、ちよつと待て！！ 早まるなー！！

ノラ猫4、カメラ付き携帯を取り出して・・・

ノラ猫4
オッケー！！

ノラ猫1〜3も大あわてで携帯を取り出す。

ノラ猫全

オッケー！！ さあ、飛び降りろ！！

と、突然ガタンと電車の音。
携帯でメールに夢中な乗客。

素顔の男

まさかこんなことになるとは、思ってもみませんでした。読みかけの文庫本はクリーニングに出した背広の上着の中。携帯は充電したまま机の上。頼みの綱の車内広告すら、なぜかどこにも見あたらず、居場所もないままいつもの電車。いつもなら朝のラッシュですし詰めのはずの、月曜8時のいつもの電車。この奇妙な人の少なさに、今日がハッピーマンデーという名の祝日なんだと、気がつくのにそう時間はかかりませんでした。

何がハッピーマンデーだ。私に何を祝えというのでしょうか。月曜日はいつも憂鬱だ。ハッピーどころか、マニックマンデー。マニックどころか、ブラックマンデー。またあの1週間が始まる暗黒の月曜日。月曜8時のいつもの電車。見知らぬ他人との関わり合いから身を守る、すべてを忘れた私には、とてつもなく辛い月曜8時のいつもの電車です。

一人は嫌だ。でも他人と関わりを持つのも嫌だ。何からも自由なままこの寂しさを埋めてくれる、そんな都合のいい場所がどこかにないかと、夜な夜なインターネットという荒海に向かい、叩きつけるほどにキーを打つても、何者かもわからない何者かから、無遠慮に傷つけられるだけの日々。片手にネズミという名のコントローラーを握りしめた私は、本当は一番気まぐれな猫なんじゃないかと。私が眉をひそめるこの風景は、実はいつもの私の姿なんじゃないかと。

と、野次馬達の罵声が戻ってくる。

ノラ猫 1

いつまで待たせんだ!!!

ノラ猫 2

こつちも忙しいのよ!!!

ノラ猫 3

首が疲れたぞ!!!

ノラ猫 4

さっさとしろよ!!!

ノラ猫 1

飛べ!

ノラ猫 2

早く飛べ!

ノラ猫 3

すぐに飛べ!!!

ノラ猫 4

そして砕け散れ!!!

素顔の男

崩れ去る、腐った神話。土地、経済、終身雇用、安全、道徳、福祉、年金、医療、そして平和という幻想。すべてが崩れ去る、戦後日本の神話。崩れ去るなら、飛び立つべきだ。いずれは倒れる老木ならば、いずれは沈む船ならば、飛べるものは空へ飛び立ち、泳げるものは海へと飛び込め。

.....できません!!!

そんな偉そうなことをいいながら、どうすることもできず、いつまでも飛び立つことができません!!!

ノラ猫 1

怖じ気づいたのか!!!

小林

あなたの代わりに勝つことはできない。あなたの代わりに飛ぶことはできない。見ていることしかできないけれど。それが少しでもあなたの背中を押すことになるのなら。見届けましょう。飛び立つあなたの何もかもを。

素顔の男

・・・ローリングソバット。

小林

え？

素顔の男

ローリングソバットを、していただけませんか。

小林

いいでしょう。

素顔の男

お願いします。

小林

応援します。頑張ってください。

素顔の男

はい。

小林

いくぞ！！！！

素顔の男

はい！！！！！！

小林邦昭、素顔の男の背中を押すかのように渾身のローリングソバット。
素顔の男、飛び立つ。

ノラ猫全

飛んだ！！

音楽 「スカイ・ハイ（ハウスミックス）」

飛んだのか、それとも墜ちたのか。

素顔の男、中空にその姿をあらわす。

素顔の男、リングインのポーズのまま、さらに高く空へ。

ファイティングポーズで、遙かに地上を見下ろす。

やがて・・・暗転。

(幕)

脚本執筆に際し、下記のサイト並びに文献を参考にしました。

流血の魔術・最強の演技

くすべてのプロレスはショーである

ミスター高橋

TIGERMANIA

<http://www2.biglobe.ne.jp/~toshio/TIGER.htm>

昭和プロレス研究室

<http://members.at.infoseek.co.jp/drnick/proresu/top.htm>